

令和6年度

栄小学校 1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： きせつとなかよし あき
(活動名)

ねらい： 秋は、木の実や落ち葉など、魅力的な自然物が多く見られるため、豊かな秋の自然を存分に体感させたい。また、自然の中を五感を使って活動することで、言葉や動作で表現することや、自然物を使って遊ぶことの楽しさに気付かせたい。さらに、幼児等と交流することで、相手に合わせて適切に関わり、自分自身の言葉や行動を見つめ直し、活動していく実践的な力も育てたいと思い、この単元を設定した。

【10月31日】

生活科の校外学習で、栗原公園に出かけました。自然と触れ合い、たくさんの「秋」を見つけ、自然のよさに気付きました。



【11月某日】

校外学習で拾い集めた秋のもの（どんぐり、松ぼっくり、落ち葉など）を使って、「あきのおもちゃ」を作りました。



【11月～12月某日】

出来上がったあきのおもちゃで遊びました。また、幼稚園や保育園の年長さんを招待して一緒に遊ぶ準備をしました。楽しんでもらえるように遊び方を工夫しました。



【11月28日、12月18日】

住吉保育園とつくし幼稚園の年長さんを教室に招待して、一緒に「あきのおもちゃ」で遊びました。優しくルールを説明したり、遊び方の手本を見せたりすることができました。



まとめ コラム

「秋」の良さに気付いたり、自然の様子に感動したり、たくさん秋を感じながら活動をすすめていきました。年長さんとの交流では、やる気に満ちた表情やお兄さんお姉さんとして接する優しい姿を見せていました。